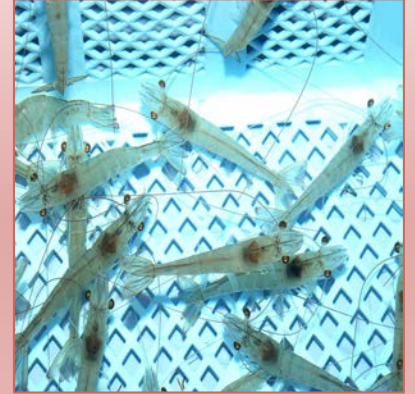


日本熱帯農業学会 第195回研究集会

エビ養殖工場：21世紀の新しい食料産業

講師：Marcy Wilder氏（独立行政法人国際農林水産業研究センター，
東京大学大学院農学生命科学研究科農学国際専攻）



室内型エビ生産システム
（日本国内）



・近年、エビ養殖が世界的に急激な発展を遂げており、特に海産エビ養殖は150億ドル規模以上の巨大水産食品産業に成長しました。日本は、世界有数のエビ輸入国であるにもかかわらず、エビ自給率は極めて低い状況にあります。

・今後もエビ養殖産業は成長していく見込みですが、熱帯・亜熱帯地域では、エビ養殖による環境破壊や病気発生による不安定な生産が常に問題となっています。

・このような背景を踏まえ、本研究集会では、エビ養殖の現状に触れながら、今後の展望について話題提供いたします。特に、エビ養殖の様々な問題を克服できる新技術である、閉鎖循環式陸上養殖について紹介します。

日時：平成25年11月16日（土）13:30～15:00

会場：東京大学農学部 弥生講堂アネックス内セイホクギャラリー

（東京都文京区弥生1-1-1, http://www.a.u-tokyo.ac.jp/yayoi/plan_annex.html）

主催：日本熱帯農業学会

共催：東京大学大学院農学生命科学研究科
農学国際専攻

どなたでも自由にご参加下さい
（事前申し込み不要）

問い合わせ先：浅沼修一
（名古屋大学農学国際教育協力研究センター）
asanumas@agr.nagoya-u.ac.jp



ベトナムにおける淡水エビ養殖